

研究者の横顔			
フリガナ	カトウ ミホ		
お名前	加藤 実穂	助成金額	50 万円
ご所属	国立成育医療研究センター 小児がんセンター 小児がんデータ管理科		
研究テーマ	小児がん経験者の経済的課題に関する調査研究		
1：研究者になろうとしたきっかけ			
<p>以前は小児がん病棟で臨床医として小児がん医療に携わっていました。その中で「治療が終わった後も、長く安心して暮らせるように支えたい」という思いが強くなり、日本全体の長期フォローアップ体制構築事業に携わるため、2011年に国立成育医療研究センターのデータセンターに異動しました。今は患者さんのデータを集めて研究を進めていますが、数字の向こう側には、これまで出会った子どもたちや、これから出会うかもしれない患者さん一人ひとりの姿があります。データを通じて、その方々と今も確かにつながっていることに、大きなやりがいを感じています。</p>			
2：助成研究の内容紹介			
<p>小児がんを経験した方を対象に、治療後の医療費負担や収入の実値等について、小児がん患者会ネットワークを通じた全国規模の調査を行います。これにより「お金の困りごと」を客観的にデータで可視化します。</p>			
3：2の将来に繋がる結果予想・目標			
<p>収集したデータをもとに、病気の種類等から推定される「必要な医療費」と実際の収入を比較し、不足額を推計します。その結果から、どのくらいの公的支援が必要かを試算し、医療費助成の継続や拡充などを国に提言していくことを目指しています。将来的には、小児がん経験者の方々のお金の心配を少しでも減らし、必要な検査や診療を安心して受け続けられる体制づくりにつなげたいと考えています。</p>			
4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ			
<p>この度は、研究助成に採択していただき誠に有難うございました。大切なご支援を活かしてより良い小児がん医療の未来につながるデータを集め、支援のための「確かな根拠」をつくっていきたいと思います。小児がんを経験した方のための長期フォローアップ体制をより良くしていけるよう今後も力を尽くして参りますので、温かく見守っていただければ幸いです。</p>			